



Title	中国研究集刊 洪号（第7号） 田龍通信/奥付
Author(s)	
Citation	中国研究集刊. 1989, 7
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/60911">https://hdl.handle.net/11094/60911</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 田龍通信

\*執筆者紹介(目次順)

寺門日出男 大阪大学助手

富永一登 大阪教育大学助教授

竹内弘行 名古屋学院大学助教授

加地伸行 大阪大学教授

近藤光男 お茶の水女子大学名誉教授

\*本誌は、全国誌をめざしている。全国の研究者に玉稿をお寄せいただきたいと切望してやまない。

\*黒川洋一・吉田恵両教授の退休記念祝賀会を大阪大学文学部中国哲学研究室主催で、四月五日(水)、なにわ会館(大阪市)において行なった。黒川教授、吉田教授御夫妻・令嬢を御招待、参加者は四十四人(教養部関係三、国文学関係三、言語文化部関係七、文学部関係一、中国哲学研究室関係三十)、計四十八人であった。和やかない雰囲気の会であった。その祝賀会と、本号の特集「受業生文集」とをもって、研究室の両先生に対する感謝の意とする。御健康をお祈り申しあげつつ。

\*昭和六十二年四月から二年間、助手をつとめてきた佐藤一好が、この四月から大阪教育大学専任講師として赴任した。か

つて故田中利明氏（本研究室出身）が在任したところである。また同じく昭和六十二年四月以来、本学部の漢文学担当の非常勤講師であった岸田知子氏（本研究室出身）が、この四月から高野山大学助教授として赴任した。かつて私が在任したところである。ともにうたた感慨にたえない。

＊大阪大学教養部に福島吉彦教授が来任されたので、今年四月から大阪大学大学院文学研究科併任教授として、御協力いただくこととなった。今年度の特殊講義担当の学外非常勤講師として、哲学関係は浅野裕一氏（東北大学）・川原秀城氏（岐阜大学）、文学関係は松本幸男氏（立命館大学）・片山智行氏（大阪市立大学）が、いずれも集中講義形式で来講される。文学部の漢文学は、富永一登氏（大阪教育大学）・田中有氏（実践女子大学）、文学部の中国語は、深沢一幸氏（大阪大学言語文化部）・黄当時氏（仏教大学）がそれぞれ担当される。助手は、新任の寺門日出男。院生は博士課程後期一名（中国に留学中）、前期四名、研究生一名、学部四回生（女子）一名である。学生の数よりも教員の数の方が多いという良き伝統を守っている。弊研究室の溜り場の別名は「田龍洞」である。本号から編輯後記を「田龍通信」とする。

（加地伸行）

中国研究集刊

ISSN 0916-2232

編輯・発行

郵便振替口座番号

洪号（1989年6月15日発行）

大阪大学文学部中国哲学研究室

加地伸行

（560 豊中市待兼山町1-1、大阪大学内）

大阪6-34413 中国研究集刊

印刷・タカラ写真製版㈱